

## 高等部2年 ～ 職場体験実習“真只中”～

「社会へチャレンジ!!」をテーマに高等部2年生は9月8日から職場体験実習を行っています。生徒はそれぞれ事業所、施設、作業所、デイサービス等で初めての実習をしています。2年生の体験実習では高等部に入学してつけてきた力を自分の進路目標となりうる場所で実際に試してみます。この具体的な体験を通して卒業後の進路や社会生活について考える機会となるように目標を設定して取り組んでいきます。

体験実習も中盤にはいい、9月末現在で15人が実習を終え、8人が実習中です。生徒たちは、学校とは全く違う環境の中で最初は想像以上の戸惑いを感じて実習にはいっていきませんが徐々に慣れて多くの貴重な経験をしていきます。『この人はどんな人かな～』『なんて声をかけたらいいのかな～』『ここで何をやるのかな～』と不安一杯だったのが安心して会話や活動ができるようになり…「おはようございます」「よろしくお願いします」「ありがとうございました」「お先に失礼します」…などこちなく小さかった声がだんだん大きくなってきます。…生徒たちの力はやはり無限です。違った環境の中でもすぐに適応して自分の力を、いやそれ以上の力を発揮するようになるのに感心します。引率の先生からも「学校では見られないような頑張りを見せていますよ。」「昨日はできなかったことができるようになりましたよ。」「自力通所(勤)ができて自信を深めたようです。」などの嬉しい報告が耳に入ってきます。もちろん課題を整理することも大切です。貴重な体験とはいえ心身ともに緊張して体調をくずしてしまったり、学校では言われることが少なかったことが実習先では厳しく言われたりすることもありました。しかし自信をなくすことはありません。まだ高等部生活は半分残されています。

今回の体験実習から得たこれらの貴重な成果と課題をこれからの学校生活にしっかり活かしていきたいと考えています。

(高等部2年)



## 高等部1年「高2 職場体験から学ぶ」

今回の進路学習は、現在2年生が体験している実習の様子から「仕事」について学び、学校との違いをさぐります。2年生の先輩の体験をインタビュー形式で聞き、働く姿をビデオ視聴することで、学校生活と卒業後の生活の違いを考えるきっかけにしたいと思います。また、色々な仕事を模擬体験する「仕事見本市」では、仕事の雰囲気を感じとることができればと思っています。そして、11月末の職場見学では施設・作業所などを訪れて、仕事を体験させてもらったり、実際の雰囲気を感じとったりしていきます。少しずつ「働く」ことや「仕事」について考えたり、感じたりすることで、自分をみつめ、将来を考える学習を積み重ねていきます。

(高等部1年)

## 高等部3年

1学期には多くの生徒が実習を行い、自分の進路決定に向けて考えることができました。2学期になってからも、デイサービスセンターでの実習を中心に実習を行っています。

卒業後に働きたい(活動したい)ところが決まったら、応募・申請手続きに入る時期がやってきます。福祉課やハローワークなどの公的諸機関と綿密な連携をとりつつ進めて参ります。こうして受諾・内定通知を受け取ることで一人ひとり徐々に進路決定が行われます。手続きに関しては、11月には学校で福祉説明会を実施し、申請・制度の利用について研修していただく予定です。

進路学習では、実習の成果を発表し合います。目標達成を伝えることで自分に自信をもち、友達の頑張りを知って自分の意識を高めるという目的をもっています。学校生活以外の環境を多く知ることで卒業後の生活に向けて幅広い視野をもってくれることでしょう。

2学期は、体育祭・文化祭などの行事が多く、また、他の学習においても充実している時期です。毎日の学校生活を大切にしながらも、高校卒業にむけて日々の成長に期待します。

(高等部3年)

## アフターケアから

平成19年度卒業生の卒業1年目の取り組みとして、5月に家庭連絡、6、7月に企業訪問、そして夏休みには進路先全てに旧担任が訪問して、状況把握や進路先との連携につとめました。

「学校生活」から「社会」の場へと、大きな環境の変化の中で、とまどいながらもがんばる様子が見られました。「職場にとけ込み、楽しく過ごしている」「労働時間が延びた」「苦手な活動も仲間と一緒にできるようになった」など進路先や家庭から話をうかがうことができました。高等部3年生の職場実習で経験した1~2週間の期間を越えたあたりから、疲れなどがあらわれるケース、また、作業内容よりも職場での人間関係やコミュニケーションの面で課題が生じるケースなどもありました。課題が生じたときに、進路先、家庭、学校だけでなく、就労支援センターや医療機関など様々なネットワークを活用しながら対処していくことの大切さを感じました。

平成18年度、平成17年度の卒業生に関しては障害福祉年金の加入状況などを把握したり、企業への訪問を行ったりして連携をとりました。

広島市内の施設・作業所も新体系への移行に向けて変わりつつあります。その変化をとらえた上で、関係諸機関との連携をより一層進めていきたいとおもいます。



## 生活・就労支援相談会を終えて

今年度、初めて個別の相談会を8月20日に開催しました。相談支援は、本校の地域生活・就労支援ネットワーク会の委員の方を中心に行ってもらいました。当初、この相談会の申し込みはやや少なかったのですが、主旨を理解していただくにつれ参加者が急増したため日程を前後に延長して、相談支援者数も増員していただきました。

相談会は生活相談が27名、就労相談が24名と、小学部から高等部までの保護者に参加していただくことができました。相談内容は多様で、「障害者福祉制度や福祉サービスの説明や具体的な活用方法」「進路問題や施設や福祉情報の提供」など多岐にわたりました。

また、参加された保護者からも「適切なアドバイスをもらった。」「今まで疑問や不安に思っていたことを聞いてよかった。」「施設の作業内容、利用料金、給料など具体的に聞いてよかった。」「事前に相談内容を知っておいていただいたので、よく思いが伝わり本当に参考になった。」「サービスを今まで利用したことがなかったが相談してよかった。早速使ってみたい。」「次回の相談を予約できて、安心して続けて相談ができるようになった。」「また、来年もできれば、年に2～3回はやって欲しい。」など、多くの感想をいただきました。

開催主催者（進路部）としては、まだまだ新しい制度やサービスの利用や理解が浸透していない現状や、相談機会のニーズを感じました。今後ネットワーク会を通じてアンケートの中身や委員のみなさんのご意見を参考にしながら、来年度以降の取り組みについて検討していきたいと思えます。

（コーディネーター 草羽 俊之）



## お知らせ

中学部保護者研修会

10月22日（水）

中学部3年生職場見学

10月28日（火）

森の工房AMA「秋のブルーベリーフェア」

10月11日（土）10：00～13：30

どんぐり学園・作業所「どんぐりまつり」

10月19日（日）10：00～14：00

中学部2年生職場見学

11月28日（金）

広島市皆賀園「皆賀園祭り」

10月25日(土) 10:00~15:00

広島南授産所「南授産所感謝祭」

11月2日(日) 9:30~14:30

セルフ宇品「セルフ宇品のふれあいまつり」

11月8日(土) 10:00~15:30

友和の里「友和まつり」

11月9日(日) 9:30~15:00

広島市北部障害者デイサービスセンター「北部デイまつり」

11月22日(土) 10:00頃~14:00すぎ

ユキ園「第13回ウインターフェスティバル」

12月7日(日) 9:00~13:30

広島市心身障害者福祉センター「心身障害者福祉センター文化祭」

12月7日(日) 10:00~15:00

アイ・サン・サン作業所「クリスマスバザー」

12月19日(金)、20日(土) 10:00~15:00